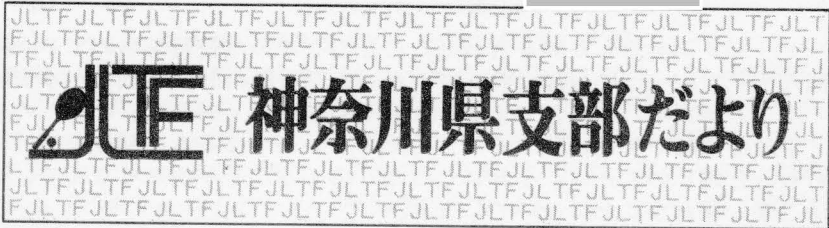


第12号



事務局 桑原宏子

輝やく全国制覇4度目の優勝!

日本女子テニス連盟 神奈川県支部

支部長 伊波昭子

第6回目



全国朝日レディース決勝大会で神奈川県が4回目の優勝を果たした事はまことに喜ばしい事と思います。これは選手の皆様の御努力の成果であることは勿論です。

しかし神奈川県が今年まで毎回入賞という全国一の成績をあげている原因は県協会の方々、練習コートをごころよくお借り下さった各クラブの方々、練習相手をつとめて下さった方々その他応援の方々と多くの人たちの有形無形の御協力があって始めて可能なことだと思います。改めて皆様にお礼申し上げます。

決勝大会では、アシスタントレフェリーとして、毎日試合を見ていて特に印象に残ったことは全体のレベルが上がって各県の差がちじまったことです。例えば、神奈川県が準々決勝で当たった宮崎県に一番苦戦し辛勝、その前の富山県もポイントは落とさなかったものの、接戦と確実に地方の力の向上を示すものと思われます。私は神奈川の今回の勝因の一つは選手の集中力が最後の決勝戦まで持続したことではないかと思えます。準決勝は神奈川一埼玉、千葉一大阪とも大変な接戦でした。しかしその対戦を両方とも見ていると、ひょっとすると千葉一大阪の勝者の方が……とも思わせるような試合内容なのですが実際に決勝で千葉に当たってみると3-0で勝った。これは千葉が急に決勝で緊張がとけてしまったのが原因のような感じがしました。集中力はやはり体力と技術に裏打ちされて始めてできるものと思えます。これからも一層精進して下さい。

監督 岩本登志子



第6回朝日レディーステニス大会全国大会も無事に終わり、おかげさまで全国優勝することができました。今大会は当初から神奈川優勝とか強いですねという声が聞かれ、選手も何かとプレッシャーを感じていたようです。初回の富山戦に思ったより苦戦をしたことでもわかっていただけだと思います。もっとも全国的にレベルアップしていることはたしかで、準々決勝の宮崎にいたっては本当に苦しい試合でした。

これらの試合を経験したことによって、準決勝、決勝戦では思いきった悔いのない試合ができ、その結果優勝という形で表われたのです。これも熱意をもって応援して載いた県協会の方々又、伊波支部長はじめ役員の皆様、練習会においては毎回多数の先輩の方達の御協力があったこと、又ごころよくコートをお貸し下さった各クラブの皆様、当日遠方より応援にかけつけて下さいましたたくさんの皆様のおかげと選手もどんなにか心強く思ったことでしょう。紙上をお借りして心から感謝し厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

来年こそは！

沼山美樹子

今年の全国大会も神奈川優勝と、みごとな成績で終わりました。私達は四位と代表にこそなれませんが、そのくやしさが引き金となり、その後の試合では、大会での教訓をいかし、良い成績を納めています。いざという時にベストで戦えるよう、多くの大会に参加し、自信をつけてゆこうと思っています。私のクラブ相模原グリーンには、全国大会出場選手が何人もおられます。その方達の胸をかりて練習出来る事は、とても恵まれていると思います。クラブの皆様の応援で、私の来年の全国大会へ向けての練習は、もう始まっています。これからの一年間ケガのないように、ベストな状態で望めるよう、パートナーと共に頑張りたいと思います。

浅沼栄子

『四組の中から一組だけ落とす日』と言っても過言ではないでしょう、9月27日という日は！朝日レディース県予選最終日、私達二人にとってはまさに地獄の一日でした。先程まで同じコート上で三位決定戦を戦っていた鈴木・早坂組が私の右に並び、満面笑みをたたえた岡田・足立組、田淵・遠藤組に「おめでとう」と祝福を受けている。代表旗を囲む三組、湘南スポーツセンターの土を恨めしく見つめる残りの一組、今までの負けの中で「悔しさ指数、一番の一敗ではないでしょうか。

「勝ちたくても勝てなかった」彼女達が全国大会で優勝し、自分の位置がはっきりわかりました。頑張りたいと思います。来年は絶対に「四位」という屈辱感だけは味わいたくありませんから…。

第2回 武石杯 熟女の技と技の競い合い

天野佐智子



年々盛んになります女子連の行事も、滞りなく今年も終わろうとしております。武石杯も、第二回目を10月29・30日に鎌倉ローンテニス倶楽部で行われました。この大会は、昨年から始められたもので、前支部長の武石様から優勝杯が寄贈され、ふさわしく、年齢制限をしたトーナメントなのです。50才から54才迄の組と55才以上の組の2つのグレードにしたものです。今年是有資格者 140名余りの方々に要項を送付し25組の方々が参加下さいました。お年寄りの大会と側から言われておりますが、なんと言ってもテニスはハードなスポーツ、体力の年齢差は勝敗に大いに関係があります。老若を問わずのトーナメントも刺激があつて楽しいとは思いますが、同世代で、技を力を競い合うのも気楽ではありませんか。どうかもっと積極的に参加して戴き度いと思います。今年度の決勝戦は、昭和9年イヌ年生れの4名が、ケンを競い合いました。とても50才の試合と思えない、力強いサーブ、スマッシュ、スピードボールの打合い、さすがと思われるドロップショット、攻撃ロビング、辛抱強いポイントの取り合い、結果はファイナルセットのタイブレークで優勝が決定した白熱の戦いでした。

さて2000名の大世帯になりました神奈川県支部も支部長を中心に役員15名が、手さぐりながらも着実に行事を企画し、運営しております。適材適所の言葉通り各々が、任された仕事に、それは一生懸命にたずさわっております。皆、主婦、母、選手等三役も四役もある方が、会員のお世話をしております。A・B・Cの三ブロック制も、当初の 200名位から現在は 700名近い大ブロックになりました。各ブロック内の行事も、支部長並のブロック長さんが大変上手く行っているようです。今年も朝日レディース大会は全国優勝出来ました。この大会6回中4回も本県が優勝し得たのは、神奈川県支部の組織の合理的さ、運営の確実さ等がもたらす結果ではないかと考えられます。日本女子テニス連盟が発足したすぐ1年後の昭和44年に神奈川県支部が誕生したそうです。良き先輩の皆様方がはぐくんで下さったこの会を、私達現役員が、大切に守り、少しずつでも充実させて又後輩の方へとバトンタッチしたいと思います。武石杯は、神奈川県支部15年間の集大成のような気がします。三年目四年目と少しずつでも大きく育って、より良い大会に発展する事を念願致します。

第2回 武石杯

55才以上

優勝 白石・木太(柿台 東林間)
準優勝 矢部・戸沼(鎌口 鎌口)
三位 武石・渡会(鎌口 高麗)
武本・渡辺(高麗山)

50~54歳以上

優勝 松本・岡田(鎌口 鎌カ)
準優勝 小野・五十嵐(湘南ローン)
三位 出光・桑原(湘口 カトレア)
溝口・清水(鎌口 鎌カ)

朝日レディース全国大会を振り返って

岡田 佑子

トーナメントでしか顔を合わせたことのなかった監督を含めて7人の即席赤の他人チームが一つの目標に向って、たった三日間の間に凝縮した本音の関係を持てたことは素晴らしいことです。しかもその勝負は「当たり」と出たのですから。

平凡な主婦が普通経験することも出来ないような多大な期待を掛けられ、しかももっと嬉しいことに、それにしっかり応えることが出来るなんて、こんな光栄は二度と味わうことはないでしょう。

テニス歴10年、身心・技術全てに於て自分なりのピークだと感じます。これで、ほっと終りたいような気もするし、劣える体力、気力に鞭打って精進すべきような気もするし……。まあ、ひと区切りついたところで、ゆっくり考えてみるとします。



足立・岡田選手

足立 江津子

三日間の短かった試合、だが長かった全国レディースの道のり。無事試合が終了した事でホッとしました。最終日、千葉戦に入る時、耳にした優勝決定、笑顔で試合に入る事は初めて。(試合っていつもこうだといいなあ、と一瞬思いました)それも一身同体の様な応援(共すれば応援の中に引き込まれそう)あればこそ、勝ち得たものだと思います。

皆様、本当にありがとうございました。人と人とのつながり、友達、思いやり、優しさ、厳しさ、etc... テニスをして、良かったと思います。

遠藤 朝子

「どうして! どうしていつもの私達のテニスが出来ないのかしら」この言葉を全国決勝大会の初日から三日目の決勝迄何度繰り返した事でしょう。特に準々決勝で対宮崎戦には終始一貫したロビング攻勢にただただボールを返すだけ、なんの攻撃も出来ず、かといって守備にも徹せられず負けてしまい悔いの残るゲーム展開にショゲている私達に先輩方が次の様に良いアドバイスをくださいました。

「勝たなくてはならないと思うからあんなテニスになるのヨ、自分達のテニスをして負けたら悔いはないでしょう、明日はしっかりあなた達の平行陣のテニスをしてごらんさい」私はこの言葉を肝に命じて決勝に挑みました。神奈川の優勝は諸先輩方を始め岩本監督、チームメイトの強い団結に支えられたものと、皆様に深く感謝申し上げたいと存じます。



遠藤・田淵選手

田 淵 昭 子

神奈川輝く全国制覇、4度目の優勝成る!! なんとすばらしい響きをもった言葉でしょう。この快挙を成し遂げたチームの一員であったことは最高の喜びであります。県大会、全国大会と苦しい試合の連続で、まだまだ自分の未熟さを知らされながら県命に戦って参りました。本当に多くの方々の御指導と御支援を賜りましたこと、心よりお礼申し上げたいと思います。二度とない貴重な体験をさせていただき、スポーツにテニスを選んでいたことを誇りに思います。優しかった岩本監督はじめ岡田さん足立さん鈴木さん早坂さんそして最良のパートナー遠藤さんに感謝しつつ幸せをかみしめておます。

鈴木 志 都 子

11月8日、念願の優勝が決まった瞬間、ヤツタという歓喜と同時に地区予選、県予選そして練習会での色々な事が心に蘇り胸が一杯になりました。

思えば私の様な未熟者が朝日レディース大会に出場し、しかも素晴らしいプレイヤーが溢れる神奈川県の中で幸運にも県代表になれた喜び、そして先輩方の惜しみない協力、クラブの友人達の温かい励まし、どれも皆んな心に残る思い出です。それから応援に来て頂いた皆様本当に有難うございました。

最後に主婦でありながら貴重な体験が出来ました事を幸せに思っております。



早坂・鈴木選手

早 坂 寿 枝

優勝が決まった瞬間、この1ヶ月間の練習会で落ち込んでしまった事、経験した事のない大舞台への不安、試合前の緊張感等が一ぺんに吹っ飛んで、たとえようのない満足感で一杯になりました。思いがけず県大表となり、練習会で力のなさを思い知らされ、悩んだ日もありました。しかし、チームを信じ、監督を信じて、ついてきた甲斐がありました。弱気になった時、励まして頂いた岩本監督各試合の後、アドバイスして頂いたチームの皆様、忙しい中、練習会に参加して頂いた先輩の皆様、又連日応援に来て頂いた人達への感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

戦いはどこまでも熱く…… 59

第6回 ブロック別シングルス トーナメント

ブロック別	月/日	場 所	参加人員	結 果
A	10 / 3	相模原横山公園 テニスコート 相模原テニスクラブ	83組	優勝 柴田 真美 (夢見ヶ崎) 準優勝 茂原 絢子 (日 経) 第三位 星加美恵子 (日 経) 〃 高杉 絹子 (亀の甲山)
B	10 / 1	本郷台テニスクラブ	150組	優勝 山本 慈子 (鎌 カ) 準優勝 深井久美子 (金 グ) 第三位 星野 敏子 (ダ イ ヤ) 〃 横田 秀美 (上 郷)
C	10 / 15 10 / 18	平塚市営桃浜コート 高麗山テニスクラブ 藤沢太平台 テニスクラブ	136組	優勝 湯山 和江 (足 ロ) 準優勝 長島ひろ子 (ふじみ野) 第三位 板谷 洋子 (藤 太) 〃 河田 靖子 (寒 ロ)

本大会に向かって GO……

紀文レディースカップ84 報知ダブルス・テニストーナメント

優勝 二宮・滝本組 (相模グ) 第4位 谷村・佐伯組 (上グヒル)
準優勝 筧井・飯尾組 (鎌カ・湘グ) 〃 河田・阿部組 (寒川口)
第3位 関場・湯山組 (上グ・足柄) 〃 橋場・大谷組 (相模グ)
〃 北原・酒井組 (鎌カ・高麗) 〃 柴崎・山崎組 (鎌カ)

以上の8チームは、60年4月に行なわれる決勝大会に出場できます。但し第4位の4チームのメンバーは、以降の予選大会に再挑戦できます。

今後の日程と場所

	開 催 日	予 備 日	場 所
第7回	1月22日(火)・23日(水)	24日(木)	
第8回	2月12日(火)・13日(水)	19日(火)・20日(水)	ルーデンス
第9回	3月12日(火)・13日(水)	14日(木)	湘南スポーツセンター

決勝大会

60年4月

問い合わせ先 報知新聞社事業部

「紀文レディース・テニス大会」事業部



事務局よりごあいさつ

子育てからそろそろ手が離れ、昔楽しんでいたテニスをまた始めました頃、女子連に入ればテニスの試合に出られる事を知り初めて参加した時の新鮮な喜び、そして女子連の方々の手づくりの温かさ。そういうものが心に残っていたのが私がこのお仕事をお引受けするきっかけだったと思います。

今や企業主催の試合も多く、新しく入ってこられて女子連の試合に出ても、そういう感激はないかもしれませんが、伊波支部長の御尽力でテニス講習会とか審判講習会等開催され、やはり女子連(独自)ならではのものがあると思います。役員会に出ていますと皆さん女子連の事を真剣に考えているんだなとつくづく感じます。学生でもプロでもないママさんが母体の女子連としてこの輪が益々広がって行く事を願って次の方にバトンタッチいたします。

事務局 桑原 宏子

冬の色につつまれて今年も終わりを告げようとしています。会員の皆様には新しい年への期待と目標で充実した日々をお過ごしのことと思います。無事本年も終えることが出来、役員一同ホット一息ついております。最大のイベント全国朝日レディースも優勝で飾りこれもひとえに会員の皆様の協力と感謝しつつ後期行事の報告をいたします。